

＜集計分析結果＞

(単純集計版)

# 在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年5月

＜伊勢崎市＞



# 目次

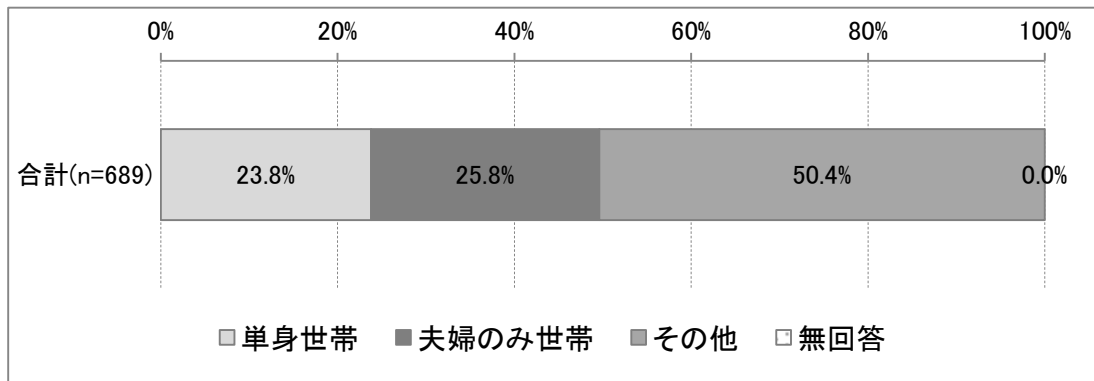
- 1 基本調査項目（A票） [P. 1]
  - (1) 世帯類型 [P. 1]
  - (2) 家族等による介護の頻度 [P. 1]
  - (3) 主な介護者の本人との関係 [P. 2]
  - (4) 主な介護者の性別 [P. 2]
  - (5) 主な介護者の年齢 [P. 3]
  - (6) 主な介護者が行っている介護 [P. 4]
  - (7) 介護のための離職の有無 [P. 5]
  - (8) 保険外の支援・サービスの利用状況 [P. 6]
  - (9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス [P. 7]
  - (10) 施設等検討の状況 [P. 7]
  - (11) 本人が抱えている傷病 [P. 8]
  - (12) 訪問診療の利用の有無 [P. 9]
  - (13) 介護保険サービスの利用の有無 [P. 9]
  - (14) 介護保険サービス未利用の理由 [P. 10]
- 2 主な介護者様用の調査項目（B票） [P. 11]
  - (1) 主な介護者の勤務形態 [P. 11]
  - (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況 [P. 12]
  - (3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援 [P. 13]
  - (4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 [P. 14]
  - (5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 [P. 15]

# 1 基本調査項目（A票）

## (1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 50.4%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（25.8）」、「単身世帯（23.8%）」となっている。

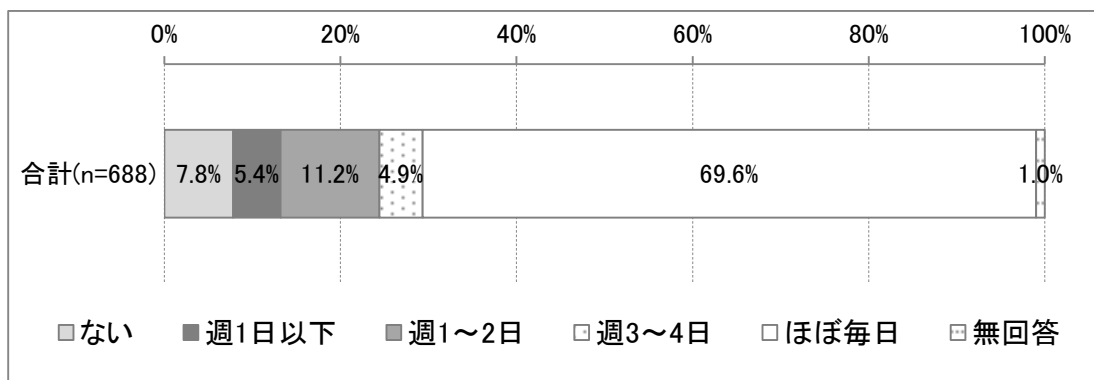
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



## (2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 69.6%となっている。次いで、「週1～2日（11.2%）」、「ない（7.8%）」となっている。

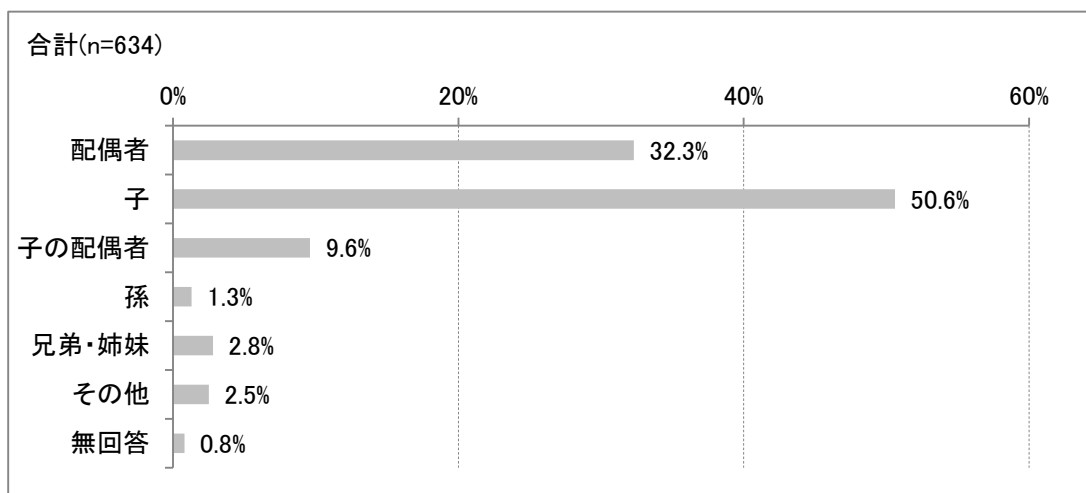
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



### (3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 50.6%となっている。次いで、「配偶者（32.3%）」、「子の配偶者（9.6%）」となっている。

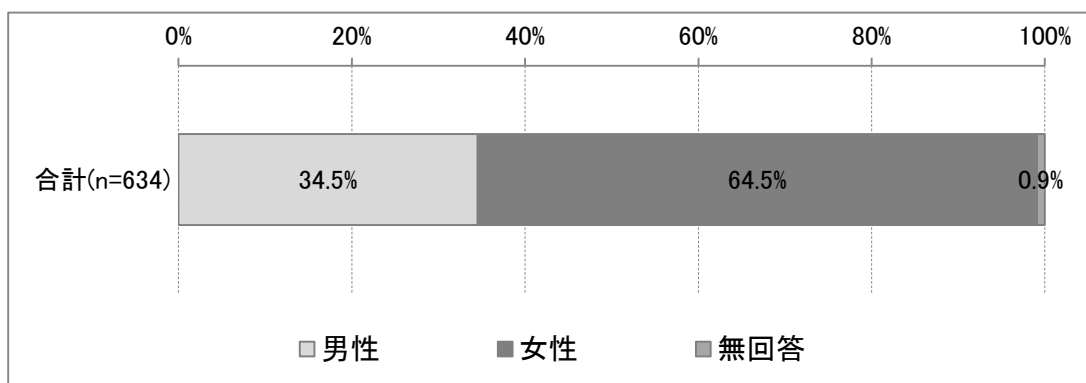
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



### (4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 64.5%となっている。次いで、「男性（34.5%）」となっている。

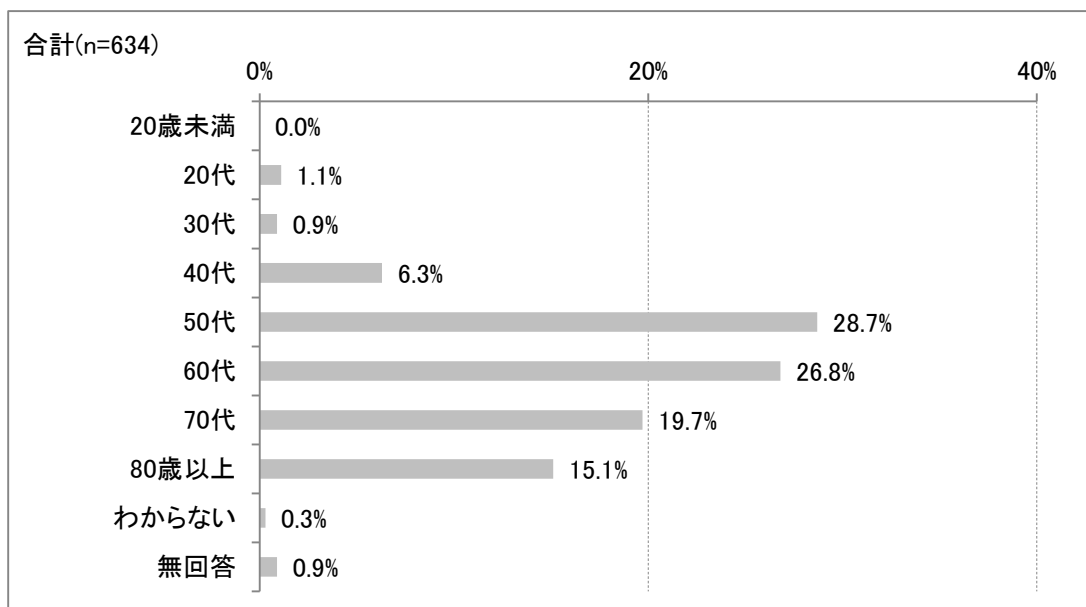
図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）



(5) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く28.7%となっている。次いで、「60代(26.8%)」、「70代(19.7%)」となっている。

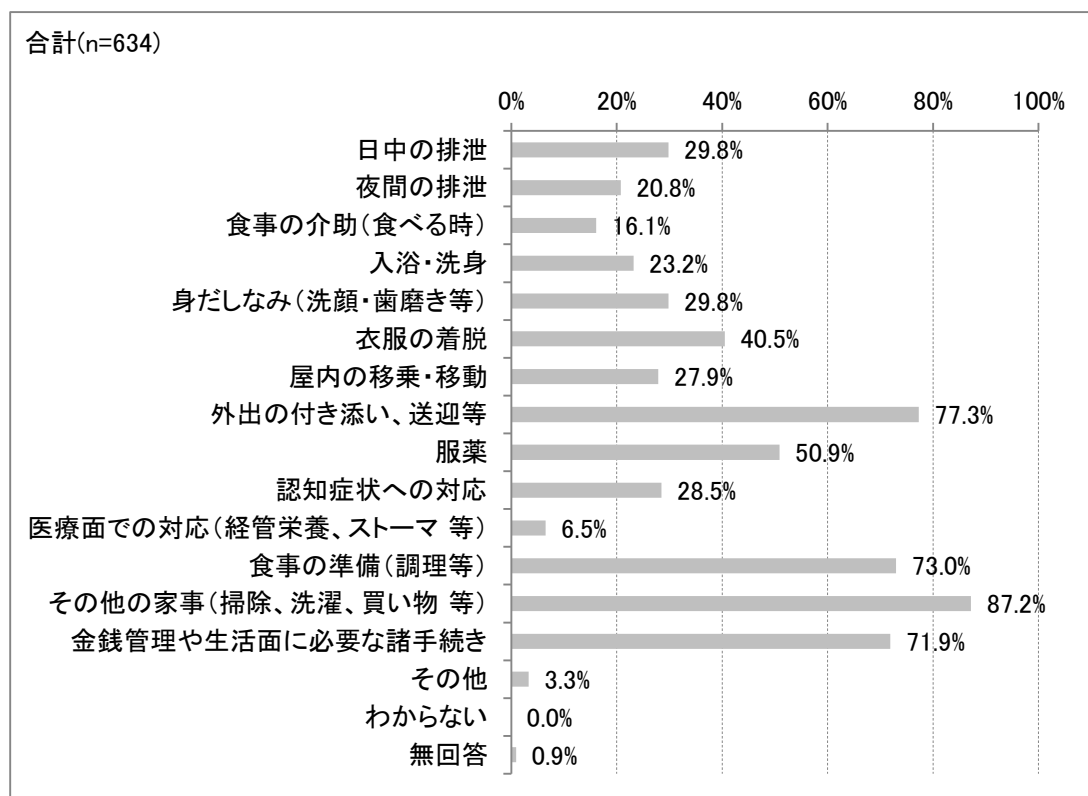
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 87.2%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（77.3%）」、「食事の準備（調理等）（73.0%）」となっている。

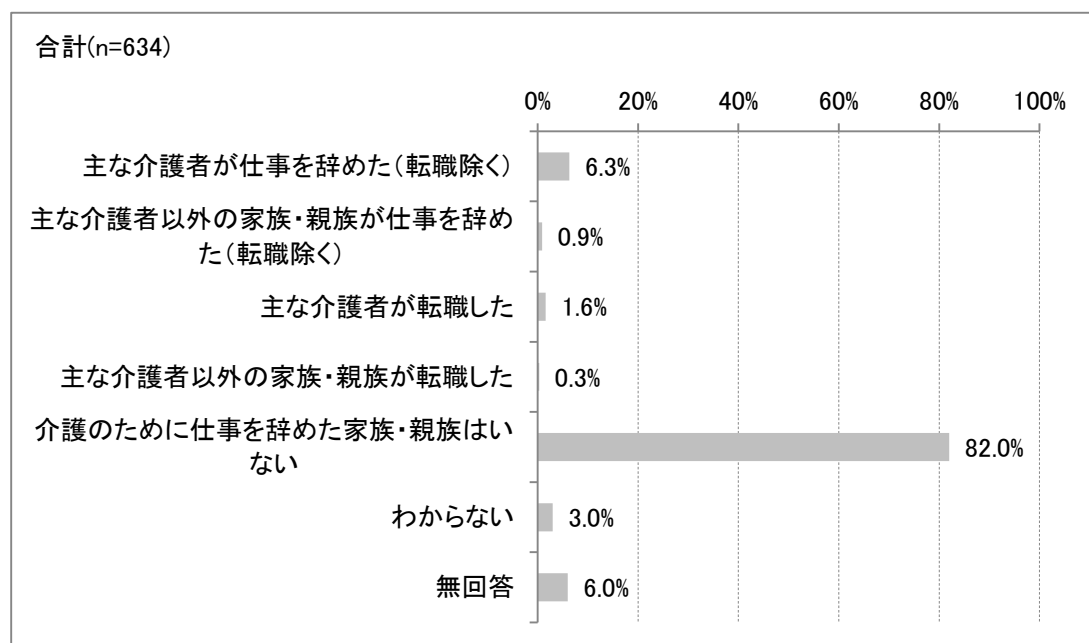
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



### (7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 82.0%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（6.3%）」、「わからない（3.0%）」となっている。

図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）

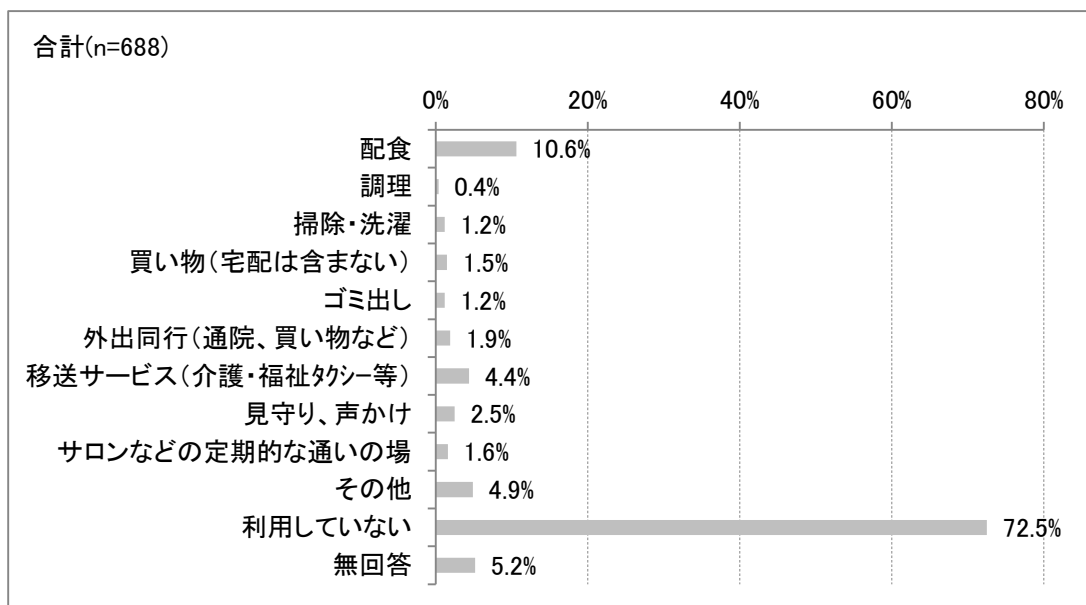




(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 72.5%となっている。次いで、「配食（10.6%）」、「その他（4.9%）」となっている。

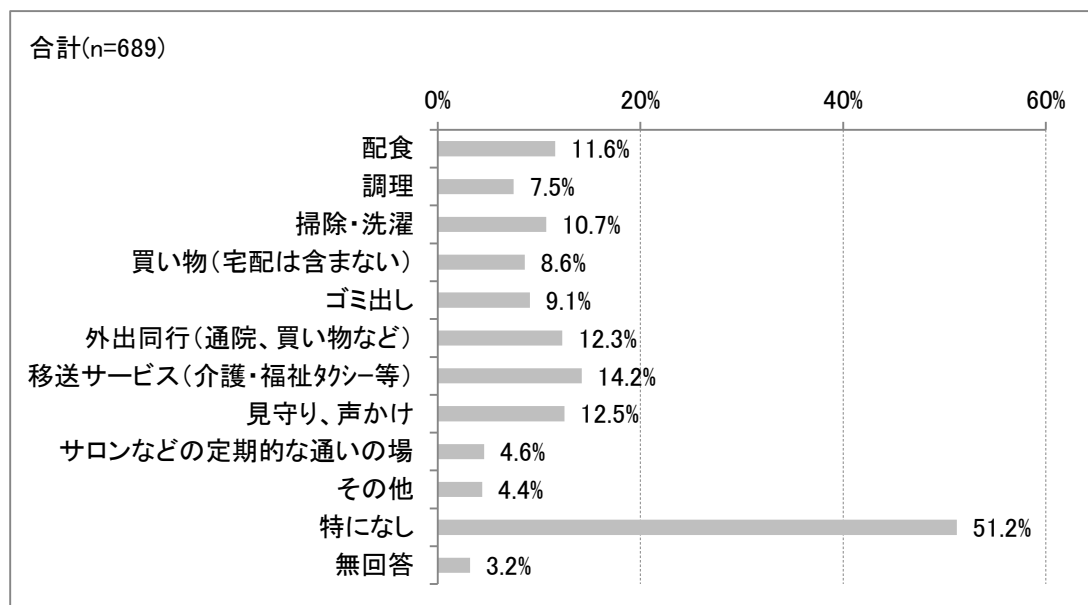
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（14.2%）」、「見守り、声かけ（12.5%）」となっている。

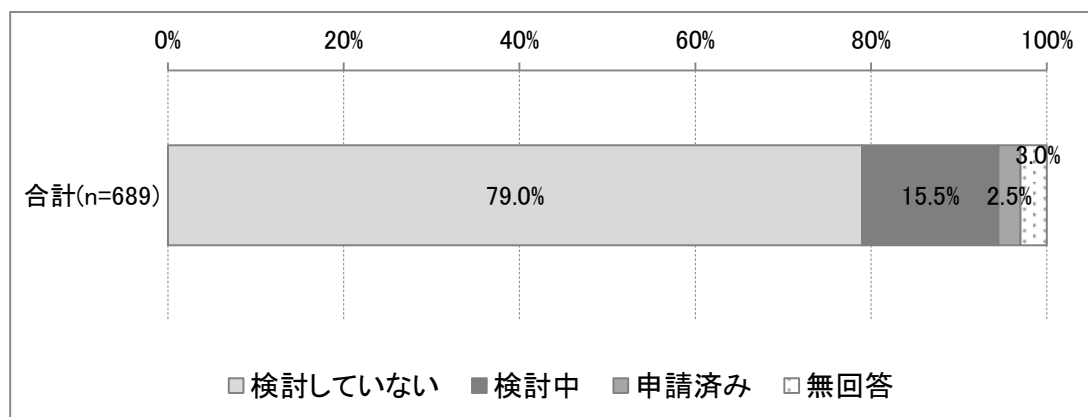
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 79.0%となっている。次いで、「検討中（15.5%）」、「申請済み（2.5%）」となっている。

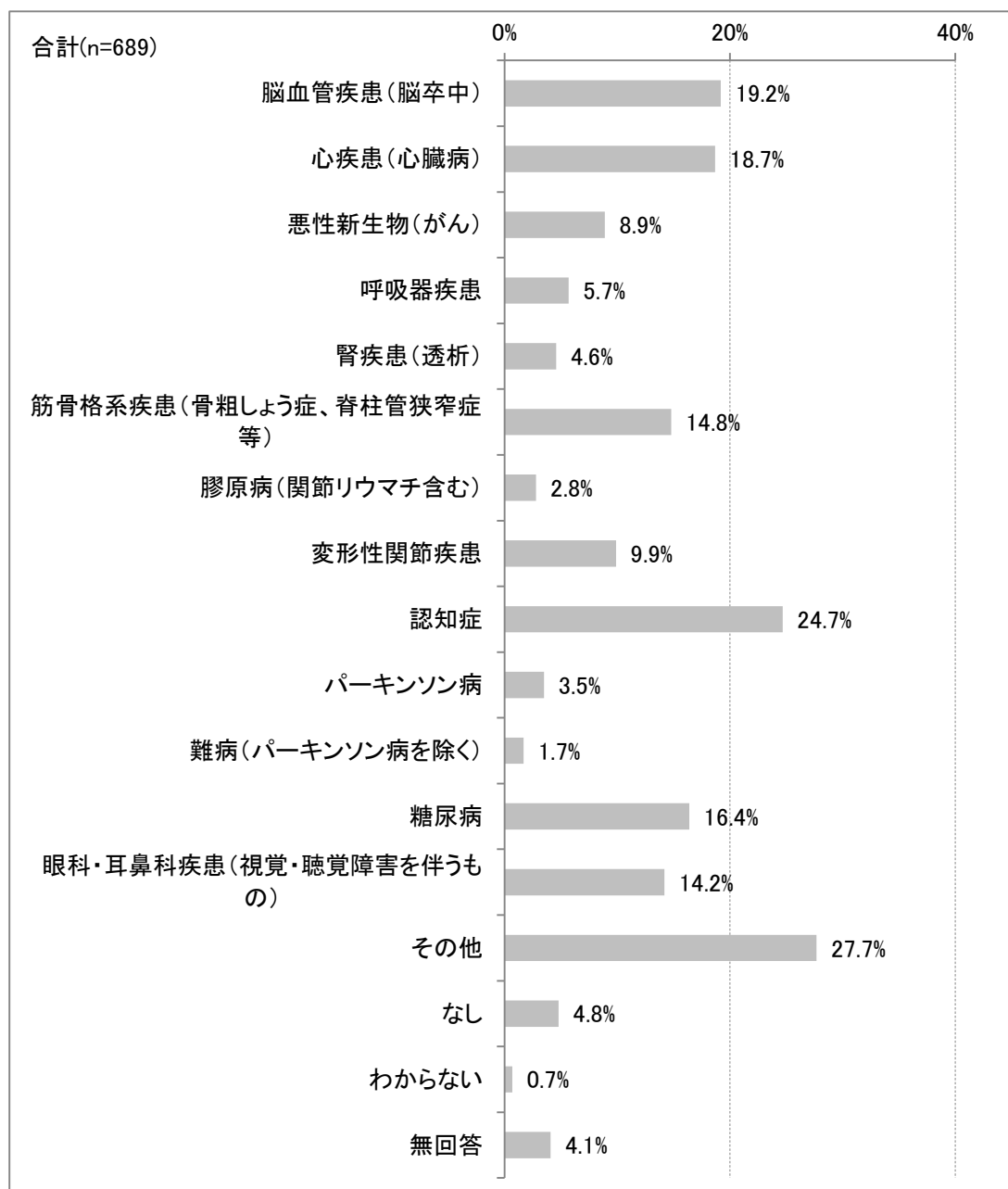
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「その他」の割合が最も高く 27.7%となっている。次いで、「認知症 (24.7%)」、「脳血管疾患 (脳卒中) (19.2%)」となっている。

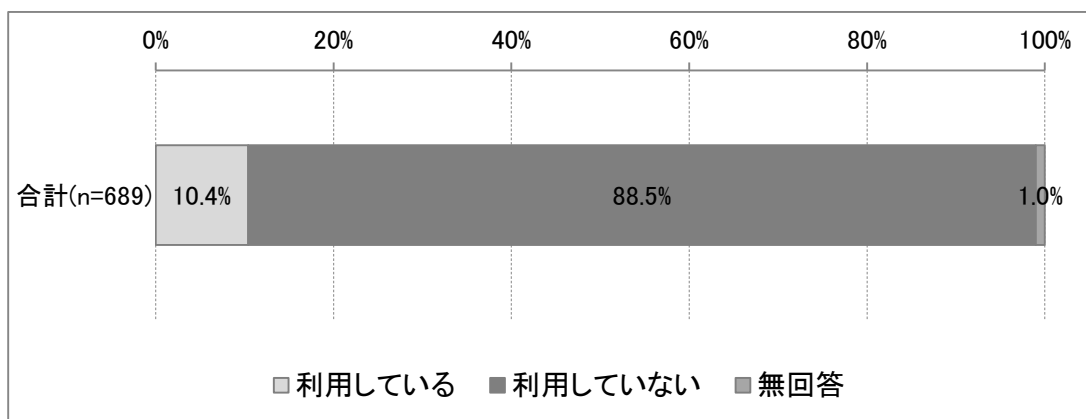
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病 (複数回答)



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 88.5%となっている。次いで、「利用している (10.4%)」となっている。

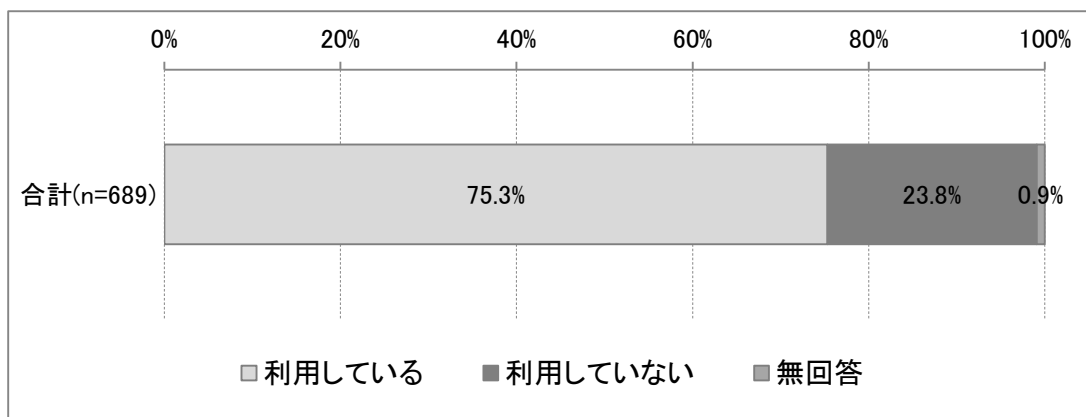
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無 (単数回答)



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 75.3%となっている。次いで、「利用していない (23.8%)」となっている。

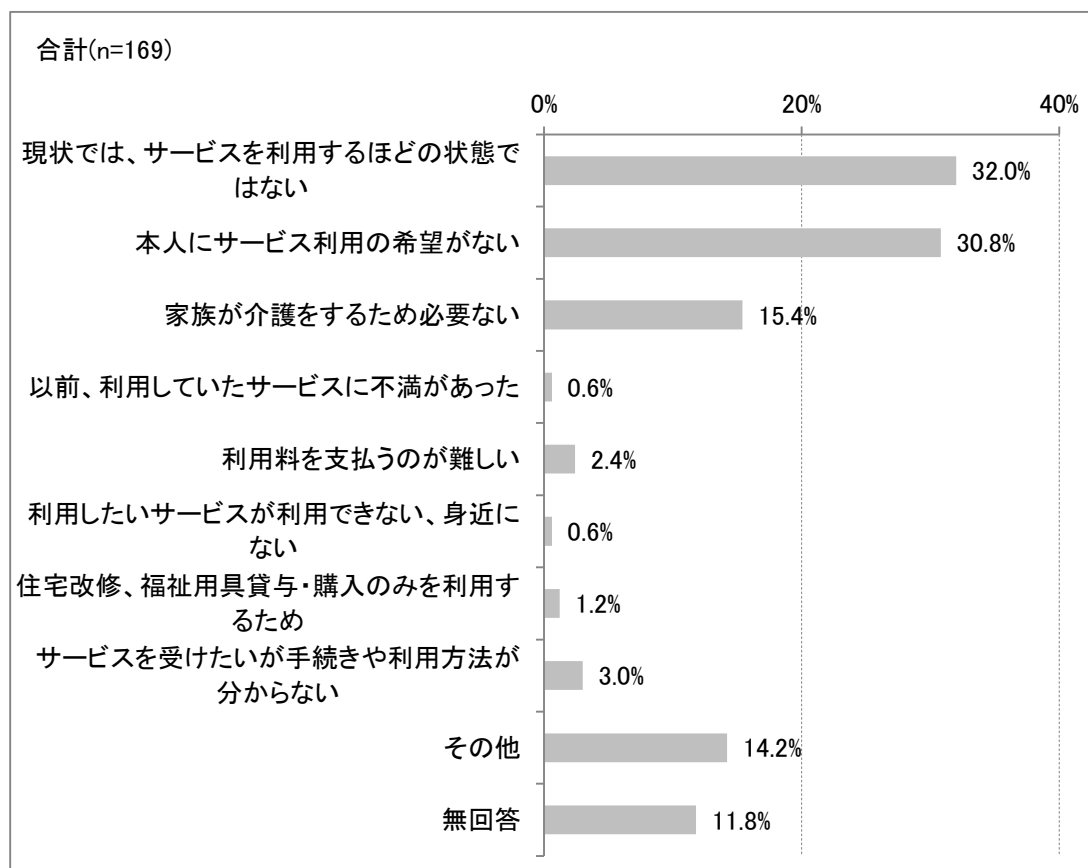
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無 (単数回答)



#### (14) 介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 32.0%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない (30.8%)」、「家族が介護をするため必要ない (15.4%)」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

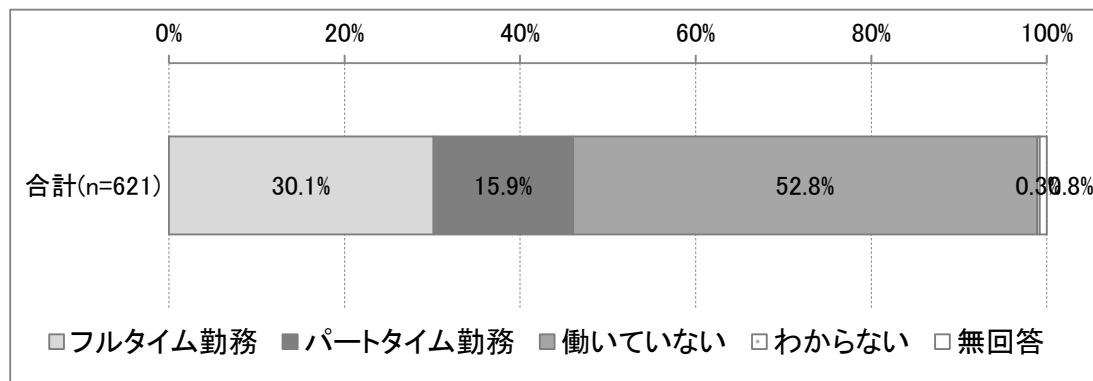


## 2 主な介護者様用の調査項目（B票）

### (1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 52.8%となっている。次いで、「フルタイム勤務（30.1%）」、「パートタイム勤務（15.9%）」となっている。

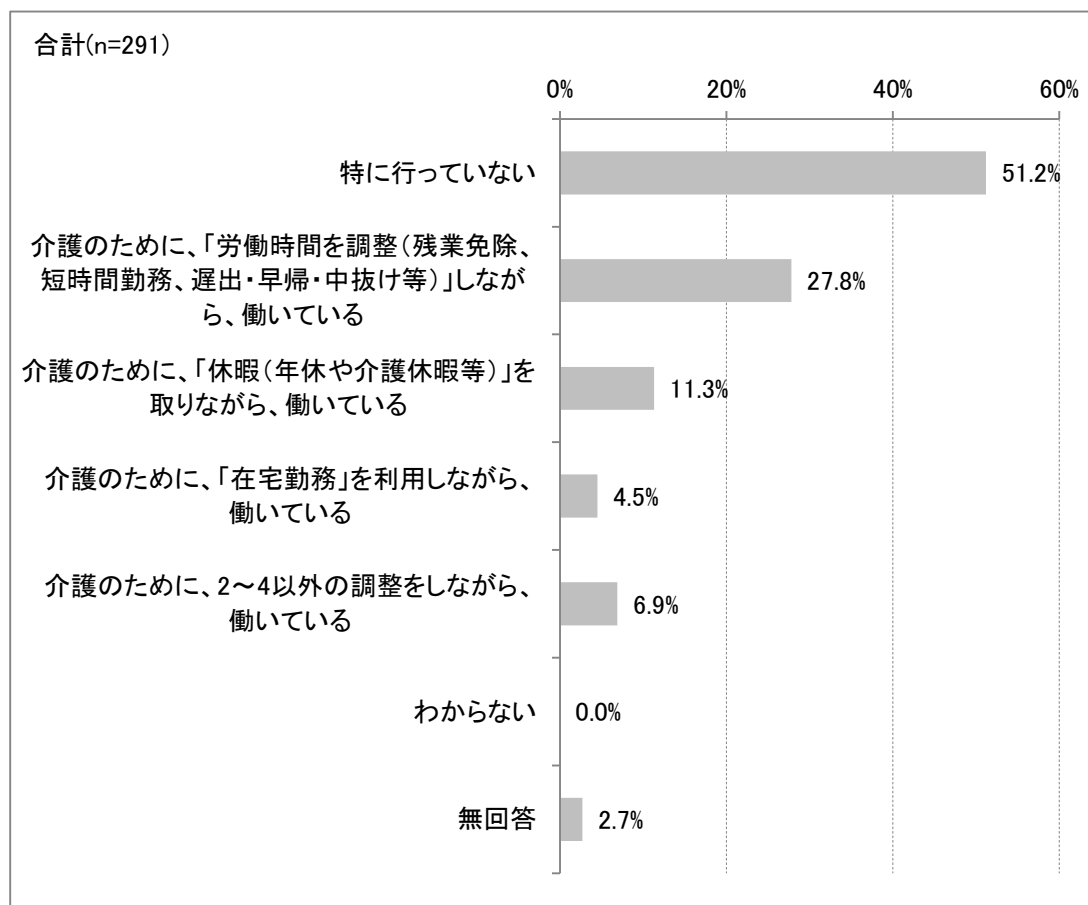
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



## (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（27.8%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（11.3%）」となっている。

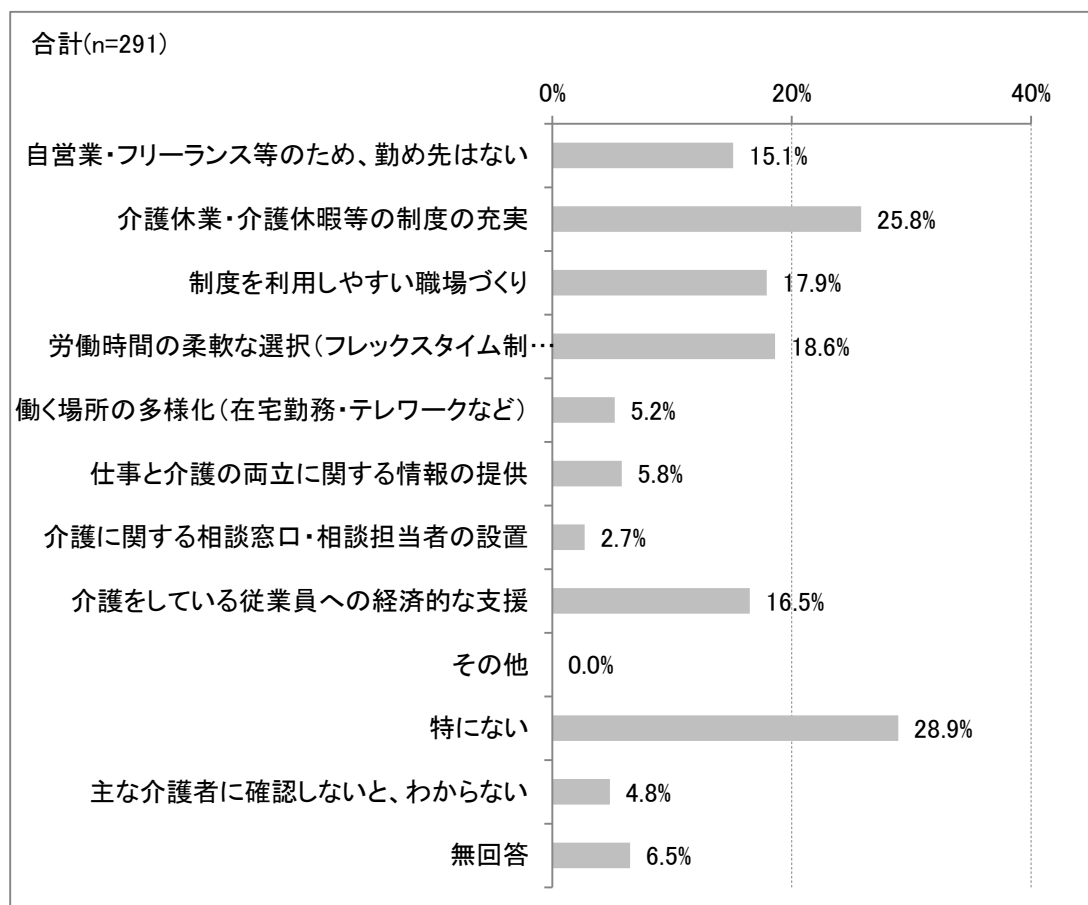
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



### (3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「特にない」の割合が最も高く 28.9%となっている。次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実（25.8%）」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）（18.6%）」となっている。

図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）

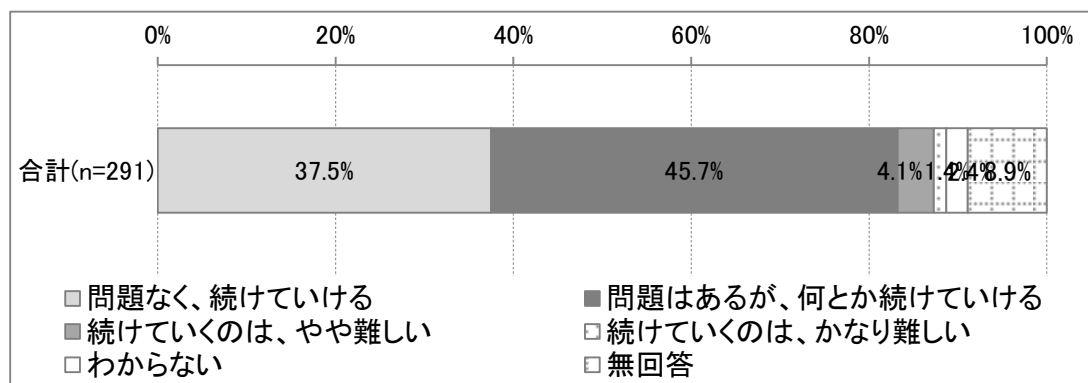




#### (4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 45.7%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (37.5%)」、「続けていくのは、やや難しい (4.1%)」となっている。

図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 26.1%となっている。次いで、「夜間の排泄 (18.0%)」、「外出の付き添い、送迎等 (15.7%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

